

食品安全関係情報(2月22日～3月7日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

2月22日～3月7日 収集件数 (合計125/92件) (前回 2月7日～2月21日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (9/13件)	米国 (14/5件)	カナダ (8/1件)	EU、EFSA (24/35件)	各国 (17/11件)	FSANZ等 (3/2件)	中国 (5/10件)	各国 (6/3件)	各国 (0/0件)	報道、論文等も含む (39/12件)
化学物質 (38/26件)	化学物質・汚染物質 (8件)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
	食品添加物 (10)	0	0	3	1	3	0	0	1	0	2
	農薬 (15)	0	8	0	5	1	0	0	1	0	0
	動物用医薬品 (2)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	器具・容器包装 (3)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
微生物・プリオン・自然毒 (41/34件)	細菌 (8件)	0	4	1	1	0	0	0	0	0	2
	ウイルス (16)	7	0	0	1	3	0	1	0	0	4
	原虫・寄生虫 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	プリオン (2)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	植物性自然毒 (1)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	動物性自然毒 (2)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他 (7)	2	0	0	2	2	0	1	0	0	0	
新食品等 (11/6件)	新食品 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	GMO (6)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	健康食品 (2)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肥料・飼料等 (4/10件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (4)	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (31/16件)	表示 (5件)	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0
	放射性物質 (3)	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	その他 (23)	0	0	1	5	1	2	2	0	0	12
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外のリコール (0/0件)	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(2月22日～3月7日収集分 125件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ 欧州連合(EU)、食品中の微量の臭素系難燃剤類のモニタリングを加盟国に勧告
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、ビスフェノール A(BPA)の意見公募のフォローアップ会議の開催を公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、食品媒介人獣共通感染症に関するファクトシートを公表
 - ・ 人獣共通感染症に関するインフォグラフィックを公表
 - ・ リステリアに関するファクトシートを公表
- ・ 欧州疾病予防管理センター(ECDC)、中国における鳥インフルエンザ A 型ウイルスへのヒトの感染に関する新たな緊急リスク評価書を公表
- ・ フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、原虫サイクロスポーラ・カイエタネンシスに関するファクトシートを発表
- ・ Eurosurveillance : 「2012年にドイツの複数州で発生した冷凍いちごに関連する大規模集団ノロウイルス胃腸炎」

【新食品等】

- ・ ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、ドイツの政府研究機関による共同研究戦略の初の評価「ナノテクノロジー:ナノマテリアルのヒト及び環境に対して考えられるリスク(2007年～2011年)」を公表

【その他】

- ・ カナダ食品検査庁(GFIA)、豚のトレーサビリティ制度を導入する旨を公表
 - ・ 日本の原子力発電所事故に関連し、輸入及び国産の食品への影響に関する情報を公表
- ・ カナダ保健省(Health Canada)、東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響に関する情報を更新し、カナダにおいて放射能は有害な水準に達していない旨を公表
- ・ 欧州連合(EU)、欧州委員会(EC)による日本産輸入品に対する規制措置の見直しについて公表

食品安全委員会が収集したハザードに関する主な情報

○微生物・プリオン・自然毒—その他

欧州食品安全機関 (EFSA)、人獣共通感染症に関するインフォグラフィックを公表

公表日：2014年2月19日 情報源：欧州食品安全機関 (EFSA)

<http://www.efsa.europa.eu/en/press/news/140219a.htm>

欧州食品安全機関(EFSA)は2月19日、人獣共通感染症に関するインフォグラフィック(注：情報、データ、知識を視覚的に表現したもの)を公表した。

1. 人獣共通感染症とは

人獣共通感染症とは、ヒトと動物の間で直接又は間接的に伝染する疾病である。例えば、ヒトは汚染された食品を摂取したり、感染動物に接触することによって人獣共通感染症を発症する。人獣共通感染症の多くは軽症で、治療を必要としないが、生命を脅かす可能性もある。

2. 集団感染の原因食品(2012年)

卵及び卵製品(22%)が最も多く、次いで複数の食材を用いたハンバーガーなどの食品(16%)、魚・魚製品(9%)、その他の食品(9%)、肉製品(8%)の順である。

3. 感染者数が多い人獣共通感染症(2012年)

(1)カンピロバクター症

- ・患者数 214,268 人【2008年(190,579人)と比べて12%増加】、死者数 31名
- ・原因食品：主に鶏肉

(2)サルモネラ症

- ・患者数 91,034 人【2008年(134,580人)と比べて32%減少】、死者数 61名
- ・原因食品：主に鶏肉及び豚肉

4. ヒトにおける人獣共通感染症の傾向(2008～2012年)

- (1) 増加：カンピロバクター症、リステリア症、ベロ毒素産生性大腸菌感染症
- (2) 減少：サルモネラ症、Q熱
- (3) 変化なし：ブルセラ症、トリヒナ症、ウエストナイル熱

5. 予防及び管理

人獣共通感染症の発生を予防するには、感染源となっている動物や食品を知ることが重要である。

○関連情報

欧州食品安全機関 (EFSA)・欧州疾病予防管理センター (ECDC)：2012年人獣共通感染症、人獣共通感染症病原体、集団食中毒の傾向及び原因に関する欧州連合 (EU) 概要報告書を公表

<http://www.efsa.europa.eu/en/efsajournal/pub/3547.htm>

食品安全委員会事務局：ファクトシート (科学的知見に基づく概要書)

掲載されているファクトシートのうち、人獣共通感染症に関するもの

ウエストナイル熱、ウエルシュ菌食中毒、エルシニア症、クリプトスポリジウム症、セレウス菌食中毒、ブドウ球菌食中毒、ボツリヌス症、Q熱、ジビエを介した人獣共通感染症

<http://www.fsc.go.jp/sonota/factsheets.html>

※詳細情報及び他の情報については、食品安全総合情報システム (<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>) をご覧下さい。

Zoonoses

Zoonoses are diseases that can be transmitted directly or indirectly between animals and humans, for instance by consuming contaminated foodstuffs or through contact with infected animals. Most zoonotic infections have mild symptoms and do not require medical treatment. However, they can also turn into life-threatening conditions.



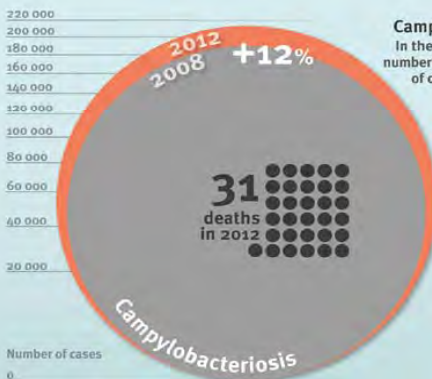
Food types causing outbreaks in the EU in 2012



In 2012, the majority of the foodborne outbreaks were associated with foods of animal origin, such as meat and eggs.

Most common zoonoses

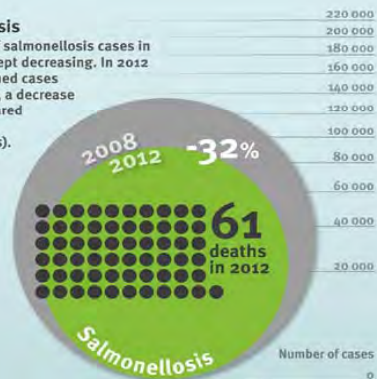
In the European Union in 2012, the most common zoonotic infections in humans were campylobacteriosis and salmonellosis.



Salmonellosis

The number of salmonellosis cases in humans has kept decreasing. In 2012 91 034 confirmed cases were reported, a decrease by 32% compared with 2008 (134 580 cases).

Salmonella is mostly found in poultry meat and pork.



Trends of 8 zoonoses in humans over the last 5 years

Data from 2008 to 2012



Prevention and control

In order to prevent zoonoses from occurring, it is important to identify which animals and foodstuffs are the main sources of infections. The European Centre for Disease Prevention and Control (ECDC) and the European Food Safety Authority (EFSA) analyse the information submitted by Member States on human cases and prevalence of zoonotic agents in animals and food, and publish an annual joint report.

Source: European Union Summary Report on Trends and Sources of Zoonoses, Zoonotic agents and Food-borne Outbreaks in 2012, published by EFSA & ECDC in 2014

